

ImPACT・PM決定後の進捗状況

平成26年9月11日

ImPACT担当室



総合科学技術・イノベーション会議
Council for Science, Technology and Innovation

革新的研究開発推進プログラム(インパクト ImPACT) > Impulsing PARadigm Change through disruptive Technologies

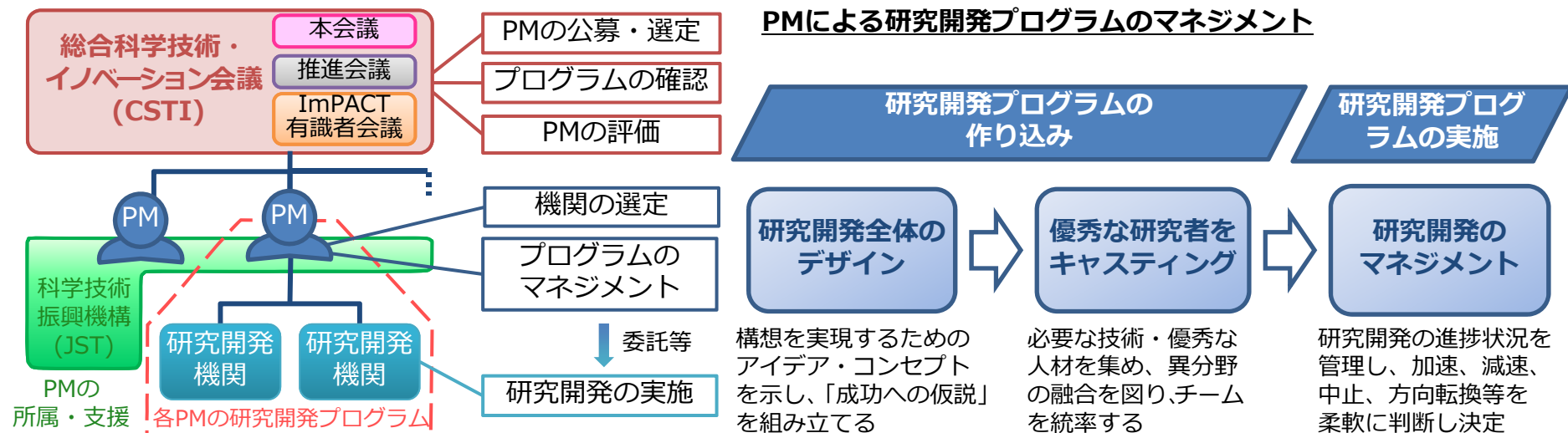
プログラムの目的

「実現すれば産業や社会のあり方に大きな変革をもたらす革新的な科学技術イノベーションの創出」を目指し、ハイリスク・ハイインパクトな挑戦的研究開発を推進する

プログラムの特徴

- ハイリスク研究による非連続イノベーションの創出において成功を収めた米国DARPA（国防高等研究計画局）の仕組みを参考
- 研究者に対してではなく、プロデューサーとして研究開発の企画・遂行・管理等の役割を担うプログラム・マネージャー(PM)に予算と権限を与える、我が国ではかつてない方式を導入
- PMが目利き力を発揮し、トップレベルの研究開発力を結集して革新的な研究開発を強かに推進

プログラムの仕組み



創設の経緯

- 「科学技術イノベーション総合戦略」及び「日本再興戦略」において創設が決定（平成25年6月閣議決定）
- 平成25年度補正予算に550億円を計上し、「独立行政法人科学技術振興機構法」の一部を改正して5年間の基金を設置
- 総合科学技術・イノベーション会議がプログラム・マネージャーを公募し、12名を選定（平成26年6月）

プログラム・マネージャー (PM)



伊藤 耕三
(東京大学)

超薄膜化・強靱化
「しなやかなタフ
ポリマー」の実現



合田 圭介
(JST/東京大学)

セレンディピティの
計画的創出による
新価値創造



佐野 雄二
(JST)

※(株)東芝より出向
ユビキタス・パワー
レーザーによる
安全・安心・
長寿社会の実現



佐橋 政司
(東北大学)

無充電で
長期間使用できる
究極のエコIT機器
の実現



山海 嘉之
(筑波大学)

重介護ゼロ社会を
実現する革新的
サイバニックシステム



鈴木 隆領
(小島プレス工業)

超高機能構造
タンパク質による
素材産業革命



田所 諭
(東北大学)

タフ・ロボティクス
・チャレンジ



藤田 玲子
(東芝)

核変換による
高レベル放射性廃棄物の
大幅な低減・資源化



宮田 令子
(名古屋大学)

進化を超える
極微量物質の
超迅速多項目
センシングシステム



八木 隆行
(JST)

※キャンノン(株)より出向

イノベティブな
可視化技術による
新成長産業の創出



山川 義徳
(NTTデータ経営研究所)

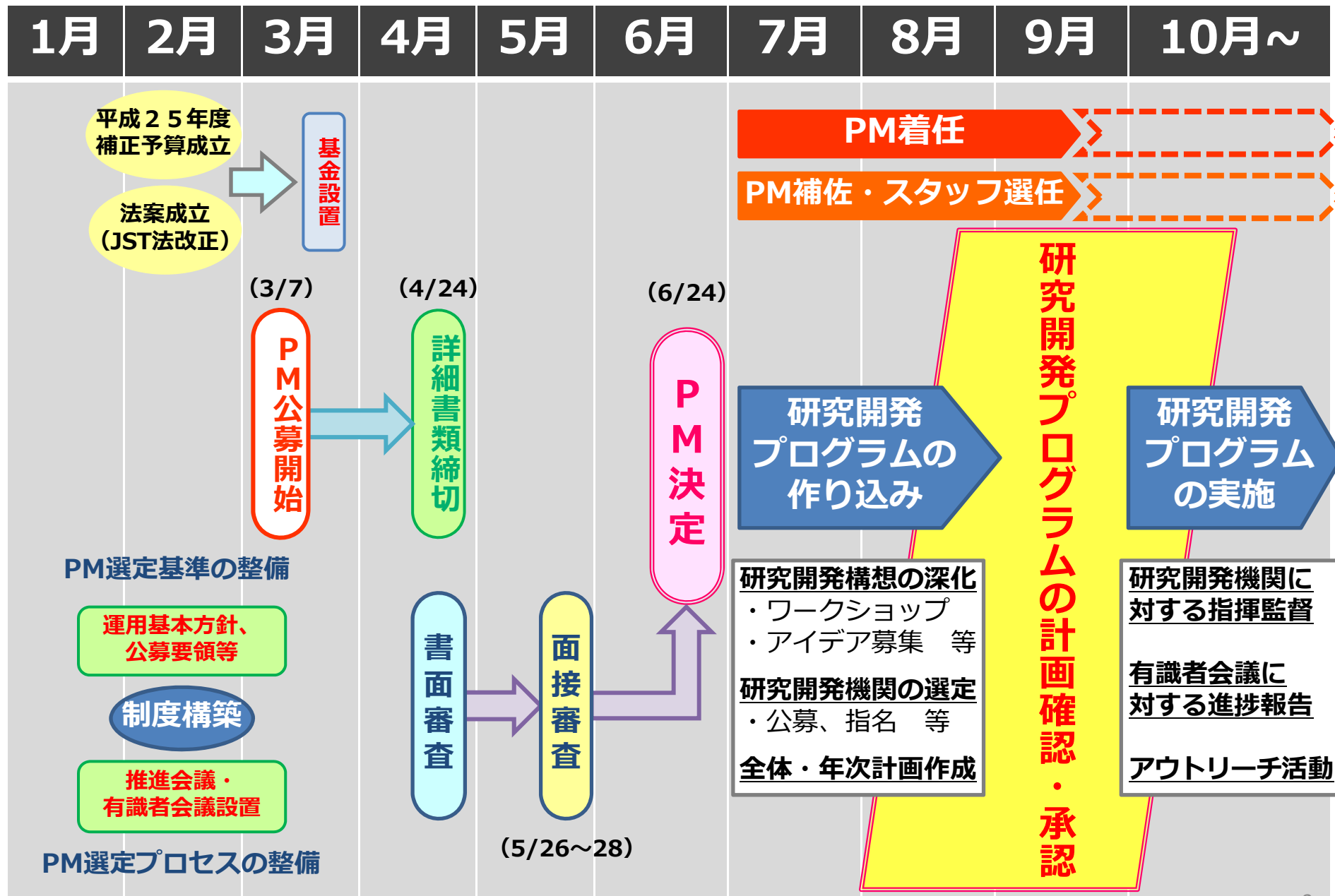
脳情報の可視化
と制御による
活力溢れる
生活の実現



山本 喜久
(国立情報学研究所
/理化学研究所)

量子人工脳を
量子ネットワーク
でつなぐ高度知識社会
基盤の実現

ImPACT実施スケジュール



PM決定後のプログラムの作り込み工程

